三小だより

武蔵村山市立第三小学校　令和７年　６月号　５月３０日発行

教育目標

○ よく考える子
◎ なかよくする子
○ 元気で明るい子
○ 力いっぱいがんばる子

安心できる居場所

生活指導部

今月の三小だよりは、私の小学校時代の経験を通して『安心できる居場所』についてお話をしたいと思います。

私が小学１年生の時の話です。その頃の私は、引っ込み思案で、なかなか友達と話すこともできませんでした。「仲間に入れてって声をかけたら、迷惑かな。」「断られたらどうしよう。」そんな気持ちがいつも心の中にありました。自分に自信がなく、思ったことをうまく伝えられない子供だったのだと思います。登校しても、門のあたりで足が止まってしまい、学校の中に入れないこともよくありました。

そんな時、ある先生が私に手を差し伸べてくれたのです。その先生は、毎日少しずつ私に声を掛けてくれました。「おはよう」「先生のお手伝いしてくれますか」「おかげで助かったよ」そんな些細な言葉一つ一つが、私にとって学校に行く楽しみになりました。『先生が見てくれている』そう思うと、私は少しずつ自信をもつことができ、友達にも声をかけることができるようになりました。不安でいっぱいだった学校が、『安心できる居場所』に変わったのです。

子供たちを取り巻く環境は、日々変化しています。その中で、家庭や学校という場所は、常に子供たちにとって『安心できる居場所』の一つでなければなりません。そのために、私たち大人にできることは何なのかでしょうか。

子供の声に耳を傾けること、肯定的な言葉をかけてあげること、家庭では、それらに加え、スキンシップをたっぷりとってあげることもできるかもしれません。家庭や地域、そして学校が協力し合い、子供たちの心をほぐし、『安心できる居場所』づくりにつなげていけるよう、今後とも御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

ふれあい月間について

本校では、年に３回６月、１０月、２月に実施しています。この期間は、いじめ防止月間として、学校全体でいじめに対する認識を高め、未然防止や早期発見に努めます。ふれあいアンケートの実施や道徳の学習、学級活動で規範意識や思いやりの心の醸成を強化します。